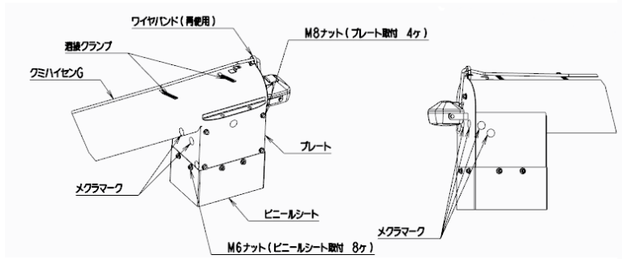
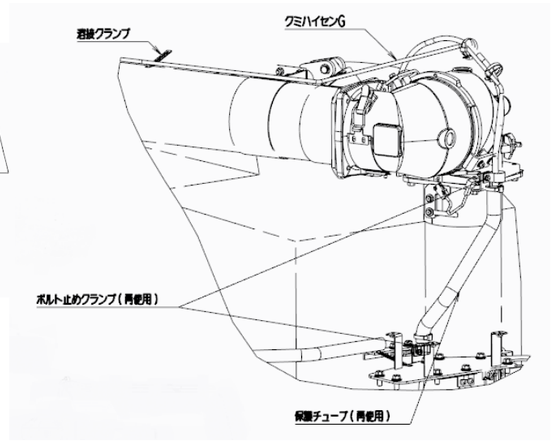
電動クラッチ＋オーガフラップキット　組立作業要領 1

1．オーガ先端部品の取り外し

(1) ビニールシートを外します。(M6ナット：8ケ)
　　外したビニールシートとナットは再使用しますので、廃棄しないこと。(5-(2))
(2) プレートを外します(M8ナット: 4ケ)
(3) メクラマークを剥がします(6ケ)
(4) 作業灯とクミハイセンGの接続を外し、オーガに沿ってクミハイセンGを外します。(溶接クランプ・ワイヤバンド)
　　最後に、オーガ根元で本機ハーネスとの接続を外します。
　　なお、クミハイセンGを外す際にオーガ根元部のボルト止めクランプ(2カ所)、及び保護チューブも外しますが、
　　これら(図示再使用部品)は再使用しますので廃棄等しないこと。
　　(作業灯とクミハイセンGは仕様によりない場合があります)

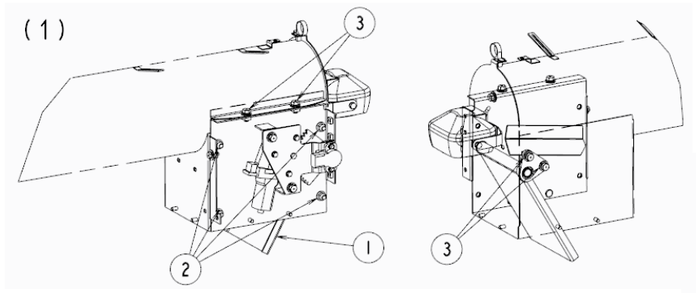


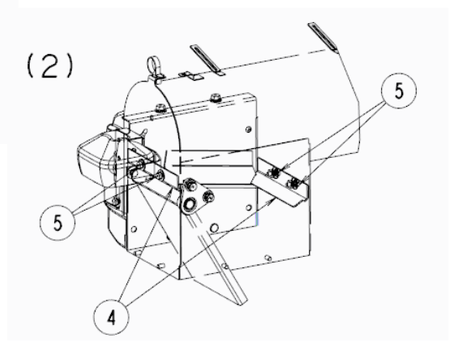


2．オーガフラップの取付

(1) <1>FLAP ASSYを組み付けます。（<2>ナット　4ケ、<3>ボルト　4ケ）
(2) <4>PLATE(2ヶ)を組み付けます。（<5>ボルト　4ケ）

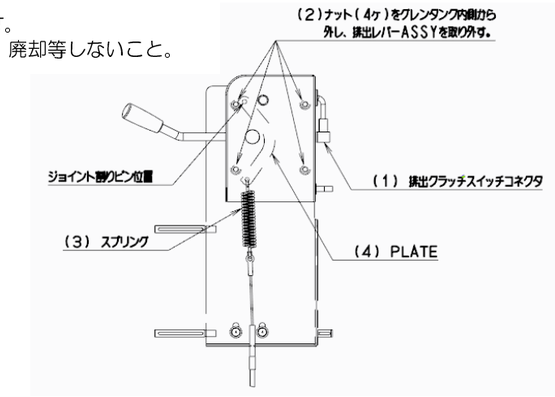
番 号	部 品 名 称	部 品 番 号	キット部品個数	備 考
<1>	FLAP ASSY	3606 9350 000	1	フラップ本体
<2>	NUT	F301 0108 001	4	ナットM8
<3>	BOLT	H154 0108 016	4	ボルトM8×16
<4>	PLATE	3606 9347 001	2	
<5>	BOLT	H194 0106 016	4	ボルトM6×16





3．オーガ排出手動クラッチの取り外し

(1) 排出クラッチスイッチのコネクタを外します。
(2) グレンタンク内側からナット（4ケ）を外し、排出レバーASSYを取り外します。
(3) 排出レバーASSYからスプリングを外します。
(4) 割りピンを外し、排出レバーASSYからPLATEを外します。
　　PLATE及びスプリングから下方の部品は再使用するので、廃却等しないこと。



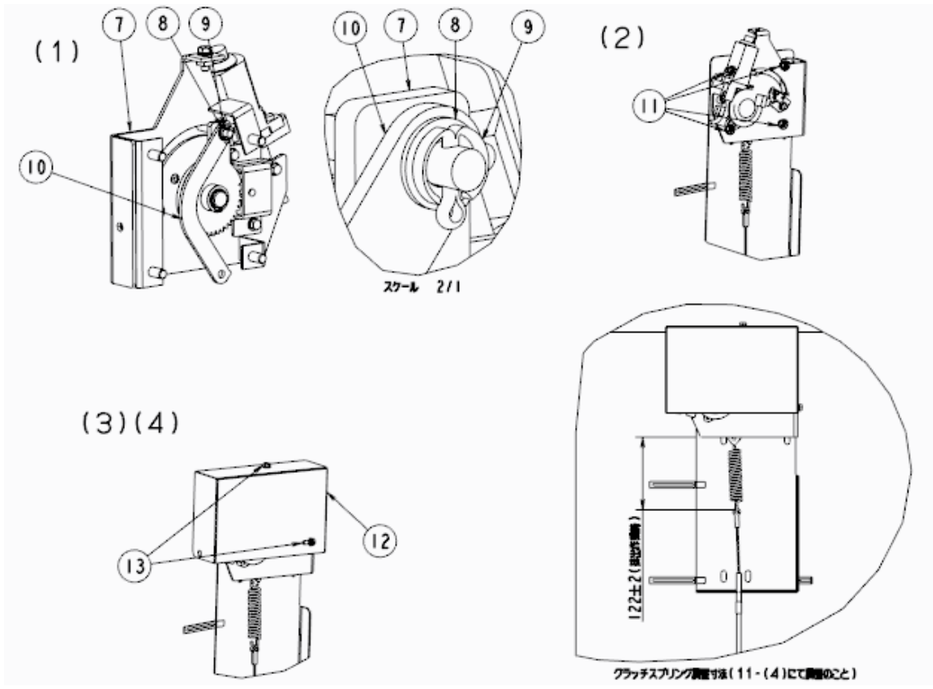
4．オーガ排出電動クラッチの取り付け

(1) 図の様に排出電動クラッチASSYを組み立てます。
　　<7>ソウサバンアッシに<8>ワッシャ、<9>割りピンを使用し、<10>PLATEを組み付けます。
(2) 3項で外したスプリングを<10>PLATEに組み付けの後、再びグレンタンク内側から<11>ナット（4ケ）にて
　　(1)で組んだ排出電動クラッチASSYを組み付けます。
　　（最終調整時、排出クラッチONでスプリング長122±2mmにセットします）
(3) <12>カバーを組付けます。（<13>ボルト2ケ）

番 号	部 品 名 称	部 品 番 号	キット部品個数	備 考
<7>	ソウサバンアッシ	3606 9805 001	1	電動クラッチ本体
<8>	WASHER	0350 0130 613	1	ワッシャ
<9>	PIN SPLIT	0520 0125 016	1	割りピン

番 号	部 品 名 称	部 品 番 号	部品個数	備 考
<10>	PLATE	3606 9405 000	1	取り外した部品使用

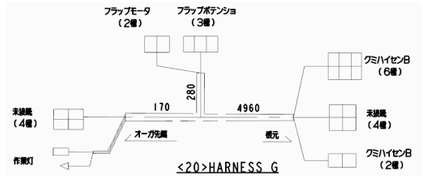
番 号	部 品 名 称	部 品 番 号	キット部品個数	備 考
<11>	NUT	F301 0108 001	4	ナットM8
<12>	カバー	3606 9415 001	1	
<13>	BOLT	H144 0106 016	2	ボルトM6×16



電動クラッチ＋オーガフラップキット　組立作業要領２

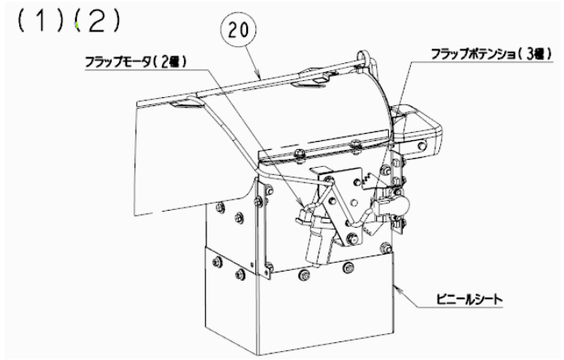
5. オーガ組配線の結線・配索

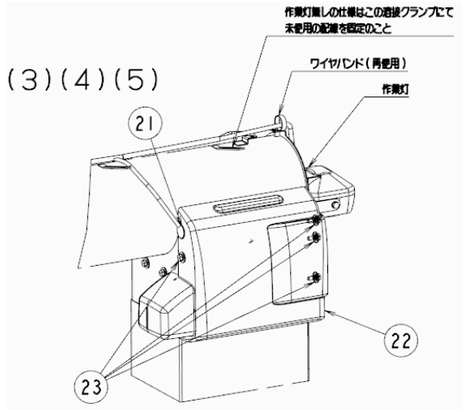
番号	部品名称	部品番号	キット部品個数	備考
<20>	HARNESS G	3606 9391 000	1	オーガ組配線
<21>	グロメット	0040 1001 601	1	
<22>	COVER	3659 9388 001	1	フラップカバー
<23>	BOLT	H194 0106 016	4	ボルトM6×16
<24>	BAND WIRE	0051 1032 070	4	使用数4 / キット総数5ヶ



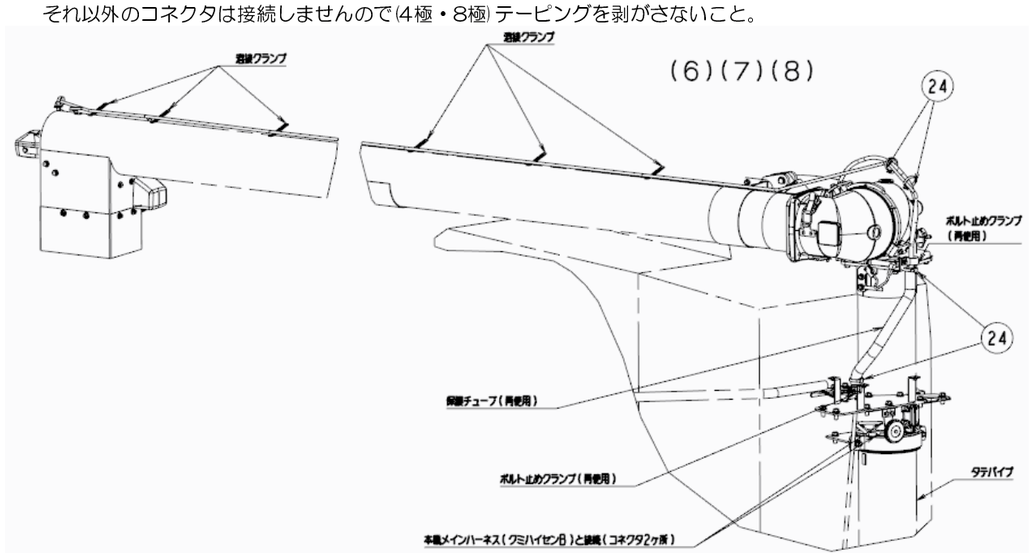
<20>HARNESS G

(1) <20>HARNESS Gのフラップモータ（２極）とフラップポテンショ（３極）のコネクタをすでに組付けられている FLAP ASSYのモータ（２極）とポテンショ（３極）に接続します。
(2) 1-(1)で取り外したビニールシートをナット8ケで取り付けます。
(3) <21>グロメットに<20>HARNESS Gが通るように切り込みを入れ、<22>COVERに瞬間接着材にて接着します。
(4) <22>COVERを<23>ボルト(4ケ)で組み付けます。
この時、<20>HARNESS Gは<21>グロメットを通るよう配索します。
(5) 作業灯付き仕様の場合は、<20>HARNESS Gを作業灯に接続します。(ワイヤバンドを再使用して固定)
作業灯無し仕様の場合は、未使用の配線を図示溶接クランプにて固定のこと。
(なお、4極のコネクタは使用しません(接続しない))





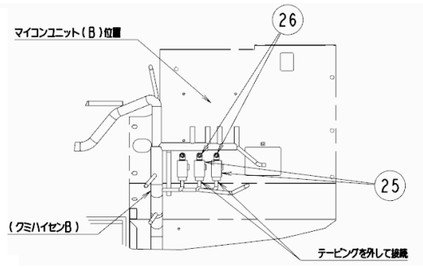
(6) <20>HARNESS Gをオーガにある溶接クランプにてオーガ先端よりタテパイプまで固定していきます。
(7) <20>HARNESS Gを油圧ホースと共に1-(4)で外した保護チューブに通し、<24>ワイヤバンド及びボルト止めクランプにて固定します。
(8) <20>HARNESS Gを本機メインハーネス(クミハイセンB)の２極及び6極のコネクタに接続します。
・2極：作業灯用
・6極：フラップ制御用(白テーピングを剥がして接続)
それ以外のコネクタは接続しませんので(4極・8極)テーピングを剥がさないこと。



6. リレーの取り付け

(1) グレンタンクを開き、<25>リレーアッシ(2ケ)をそれぞれ<26>ナットで取付けます。
位置はマイコンユニット(B)の下になります。
(2) 本機メインハーネス(クミハイセンB)にテーピングで固定されているコネクタ(2ケ)をテーピングを外して<25>リレーアッシにそれぞれ接続します。

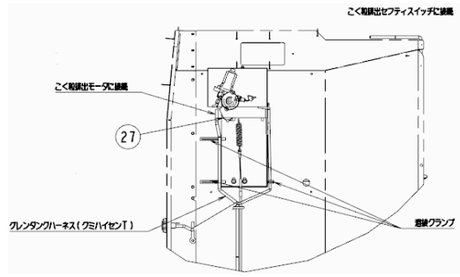
番号	部品名称	部品番号	キット部品個数	備考
<25>	リレーアッシ	3572 0857 000	2	フラップ・排出クラッチモータリレー
<26>	NUT	F300 0106 000	2	ナットM6，リレー取り付け



7. 電動排出クラッチ組配線の結線・配索

(1) グレンタンクハーネス(クミハイセンT)の2つの2極コネクタをそれぞれ、こく粒排出モータと、こく粒排出セフティスイッチのコネクタに接続します。
(2) モータ配線を<27>ワイヤバンドにて固定します。
またそれ以外の部分は既存の溶接クランプ等にて元通り固定します。

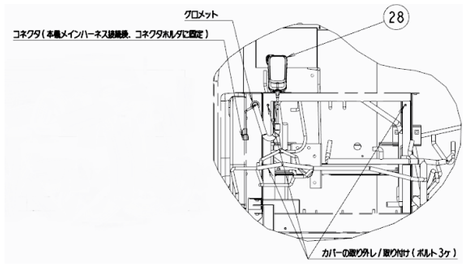
番号	部品名称	部品番号	キット部品個数	備考
<27>	BAND WIRE	0051 1032 070	1	使用数1 / キット総数5ヶ



8. オーガ有線リモコンの交換

【VY463/VG563/VG570/V475/V575】

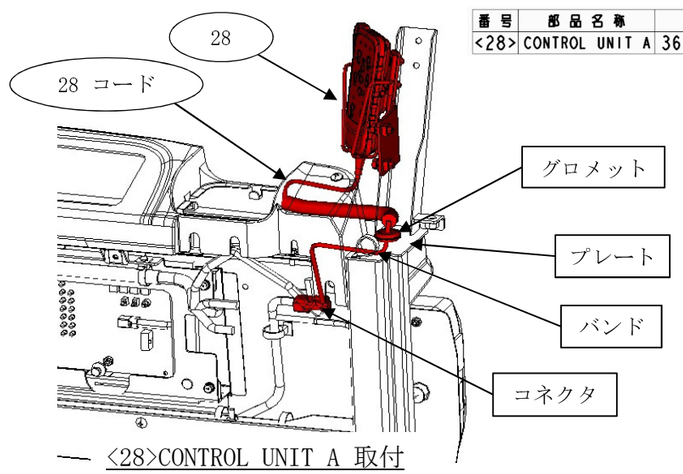
(1) 運転席シート裏のカバーを取り外します。（ボルト3ヶ）
(2) 既存の有線リモコン（6ボタン）を取り外します。
・本機メインハーネスとの結線部を外す：コネクタ１ヶ所
（コネクタホルダにて固定）
・リモコンコードのグロメットをカバーより外す。
(3) <28>CONTROL UNIT A(有線リモコン9ボタン)を取り付けます。
・コネクタ(1ケ)は本機メインハーネスと結線の後、
旧リモコン同様コネクタホルダに固定します。
・リモコンコードのグロメットは瞬間接着剤にて旧リモコン同様



【V475A/V575A/V465/V565】

(1) 回転計下の黒いカバーを取り外します。(SCREW 7ケ)
(2) 既存のCONTROL UNIT A(6ボタン)を取り外します。
・コネクタをコネクタホルダから取り外し、本機ハーネスに接続しているコネクタを外します。
・既存のCONTROL UNIT Aコードを固定しているバンドを外し、グロメットを取り外します。
(3) <28>CONTROL UNIT A(有線リモコン9ボタン)を取り付けます。
・<28>CONTROL UNIT Aコードをグロメットに通します。
・本機ハーネスに接続した後、コネクタをホルダに固定します。
・プレートにグロメットを固定し、バンドで<28>CONTROL UNIT Aコードを固定します。
(4) (1)で取り外した、回転計下のカバーを取り付けます。(SCREW 7ヶ)

番号	部品名称	部品番号	キット部品個数	備考
<28>	CONTROL UNIT A	3606 0991 001	1	オーガ有線リモコン（9ボタン）



<28>CONTROL UNIT A 取付

電動クラッチ＋オーガフラップキット　組立作業要領３

【VY463/VG563/VG570】

9.　オーガフラップ付仕様選択　メモリバックアップ

(1) 次の手順でメモリバックアップAを起動します。
スタータスイッチ(始動キー)〈切〉状態にて
・主変速レバー〈後進位置いっぱい〉にセットし、
・〈28〉CONTROL UNIT A 〈右操作〉〈緑色スイッチ〉を押した状態で
スタータスイッチ(始動キー)〈入〉にします。
ブザーが2回鳴り、ランプが巡回点滅します。
(2) ホーン・警報入切ボタンを〈押し〉ます。
ブザー断続音が鳴り続けます。
(3) 仕様により下表のとおりマルチステアリングレバーとジャスト
ディレクタを操作します。(操作維持しながら次へ)

型 式	マルチステアリングレバー	ジャストディレクタ
VY463 R(RET以外)	中立	押さない
VY463 RET	最も左に倒す	左を押す
VG563 RET/RH	最も左に倒す	右を押す

型 式	マルチステアリングレバー	ジャストディレクタ
VG570 R(RET以外)	中立	押さない
VG570 RET	最も左に倒す	押さない

(4) (3)を保持しながら、ホーン・警報入切ボタンを〈押し〉ます。
ブザー断続音が2回鳴り(記憶完了)、ランプ巡回点滅に戻ります。
(5) スタータスイッチ(始動キー)〈切〉にします。

10.　オーガフラップ開閉リミット　メモリバックアップ

(1) メモリバックアップAを起動します。9-(1)を参照ください。
(2) 〈28〉CONTROL UNIT Aのフラップ 開スイッチを一回押します。
こく粒排出ランプが点滅します。
(3) 〈28〉CONTROL UNIT Aのフラップ 開スイッチを一回押します。
フラップポテンショ自動セットアップ開始
・フラップモータが開き方向に作動し、停止箇所をメカリミット
位置としてポテンショ値を記憶 (ブザー単音が鳴ります)
・フラップモータが閉じ方向に作動し、停止箇所をメカリミット
位置としてポテンショ値を記憶(ブザー単音が鳴ります)
・ブザー断続音が二回鳴り(記憶完了)、ランプ巡回点滅に戻ります。

11.　電動こく粒排出・オーガフラップ動作確認

(1) エンジンを始動します。
(2) 〈28〉CONTROL UNIT Aの各オーガ操作スイッチにて、オーガを左右上下にできる事を確認します。
(3) オーガをこく粒排出範囲(取扱説明書　作業のしかた　こく粒の排出操作方法参照)まで移動させ、
〈28〉のこく粒排出スイッチ操作で排出されることを確認します。
(この時にフラップが自動的に開くことを確認します)
また、排出中に〈28〉のフラップ開閉スイッチ操作にてフラップが開閉されることを確認します。
(4) こく粒排出時、排出クラッチワイヤのテンションスプリングが規定量(122±2mm)になっているか
確認します。4-(2)参照のこと。
(5) フラップ全閉時に2-(2)で組付けた〈4〉PLATEとフラップの位置関係が適切であることを確認します。
(オーガフラップ調整方法に関してはオーガフラップ調整要領書内 (1)の①～③を参照ください。)
(6) (5)がOKの場合は、オーガフラップの調整は不要です。
(5)が NGの場合は、〈5〉ボルトにて調整したのち、再度10項のオーガフラップ開閉リミットの
メモリバックアップを行ってください。

【V475/V575/V475A/V575A/V465/V565】

9.　オーガフラップ付仕様選択　メモリバックアップ

(1) 別紙の「V475/575 V475A/575Aメモリバックアップ要領書」を参照し、作業を行います。

10.　オーガフラップ開閉リミット　メモリバックアップ

(1) 別紙の「V475/575 V475A/575Aメモリバックアップ要領書」を参照し、作業を行います。

11.　オーガフラップ調整要領

(1) 別紙のオーガフラップ調整要領書の手順に従い、フラップの調整を行います。

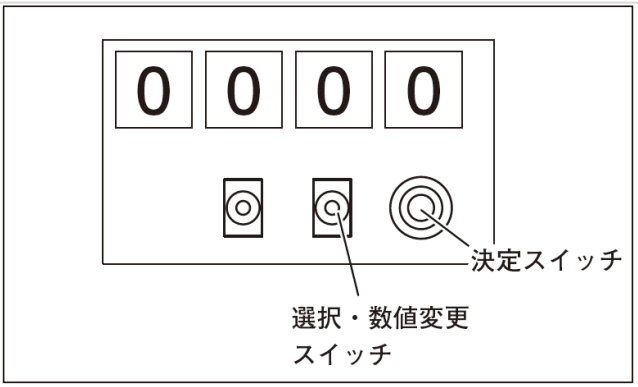
12.　電動こく粒排出・オーガフラップ動作確認

(1) エンジンを始動します。
(2) 〈28〉CONTROL UNIT Aの各オーガ操作スイッチにて、オーガを上下左右できることを確認します。
(3) オーガをこく粒排出範囲（取扱説明書　作業のしかた　-こく粒の排出操作方法参照）まで移動させ、
〈28〉CONTROL UNIT Aのこく粒排出スイッチ操作で排出されることを確認します。
（この時にフラップが自動的に開くことを確認します。）
また、排出中に〈28〉CONTROL UNIT Aのフラップ開閉スイッチ操作にて、フラップが開閉されることを
確認します。
(4) こく粒排出時、排出クラッチワイヤのテンションスプリングが規定量（122±2mm）になっているか
確認します。（4-(2)を参照のこと。）

型式 V475/575 は以下の要領でメモリバックアップを行います。

❸ Vマイコン操作部でのメモリバックアップ起動方法

(1)スタータスイッチ《切》位置を確認します。
(2) 決定スイッチを押します。
(3) 選択スイッチを《下》操作します。
(4) 上記の操作を行いながら
①キー《ON》→メモリバックアップ A が起動
②エンジン始動→メモリバックアップ B が起動
起動すると電子ブザーが 2 回鳴ります。



9. メモリバックアップ「型式切替」を行います。

	型式切替				・ 車両型式に対応した下記の設定変更を行います。
	モード	A	コード	318*	

1. メモリバックアップを起動します。
2. 上記コードを選択します。
   (ア) コードの点滅表示が点灯表示に変わります。
   (イ) 4 桁目(*部)に現在の設定値を表示します。
3. 決定スイッチを押します。
4. 選択スイッチで数値表示を変更します。(右表参照)
5. 決定スイッチを押します。
   (ア) コード表示が点滅に変わります。
   (イ) ブザーが 1 回鳴り数値変更終了。
   (ウ) 数値[0]書き込み時はブザー断続音が 2 回鳴ります。

スタータスイッチ切で終了します。

3 1 8 *

車両型式	仕様	設定する数値(*部)
V475	ET	[2]
	LM/LYM	[0]
V575	ET	[6]
	LM/LYM/LYWM	[4]

10. メモリバックアップ「フラップポテンショ開閉リミット位置」を行います .

6	フラップポテンショ 開閉リミット位置				・マイコン交換時、ポテンショ交換時、部品分解時に行います。 ・フラップ全開、全閉位置を記憶して駆動する範囲を決定します。
	モード	A	コード	1040	

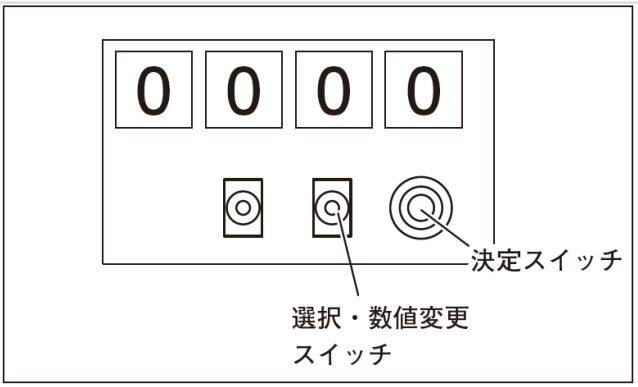
＜手順 A＞
1. メモリバックアップを起動します。
2. 上記コードを選択し、決定スイッチを押します。 1 0 4 0 **点灯 →書き込み準備状態**
◎コードの点滅表示が点灯表示に変わります。
3. もう一度、決定スイッチを押します。
◎フラップポテンショが自動セットアップを開始します。
自動的に＜開き側＞、＜閉じ側＞のリミット位置まで動きます。
各リミット点でバックホーンが鳴ります。
ブザー断続音が２回鳴り、１０４０表示が１０４１に変わります。 1 0 4 1 **点灯 →書き込み完了**
１０４０点滅表示に戻ります。(バックアップ終了) 1 0 4 0 **点滅**
4. スタータスイッチ切で終了します。

11. 「電動クラッチ＋フラップキット組付要領書２」電動こく粒排出・オーガフラップ動作確認を行います .

型式 V475A/575A は以下の要領でメモリバックアップを行います。

❸ Vマイコン操作部でのメモリバックアップ起動方法

⑴スタータスイッチ《切》位置を確認します。
⑵ 決定スイッチを押します。
⑶ 選択スイッチを《下》操作します。
⑷ 上記の操作を行いながら
①キー《ON》→メモリバックアップ A が起動
②エンジン始動→メモリバックアップ B が起動
起動すると電子ブザーが 2 回鳴ります。



9. メモリバックアップ「型式切替」を行います。

	型式切替				・ 車両型式に対応した下記の設定変更を行います。
	モード	A	コード	318*	

1. メモリバックアップを起動します。
2. 上記コードを選択します。
   (ア) コードの点滅表示が点灯表示に変わります。
   (イ) 4 桁目(*部)に現在の設定値を表示します。
3. 決定スイッチを押します。
4. 選択スイッチで数値表示を変更します。(右表参照)
5. 決定スイッチを押します。
   (ア) コード表示が点滅に変わります。
   (イ) ブザーが 1 回鳴り数値変更終了。
   (ウ) 数値[0]書き込み時はブザー断続音が 2 回鳴ります。

スタータスイッチ切で終了します。

3 1 8 *

車両型式	設定する数値(*部)
V475A	[0]
V575A	[2]
V465	[4]
V565	[6]

10. メモリバックアップ「フラップポテンショ開閉リミット位置」を行います .

6	フラップポテンショ 開閉リミット位置				・マイコン交換時、ポテンショ交換時、部品分解時に行います。 ・フラップ全開、全閉位置を記憶して駆動する範囲を決定します。
	モード	A	コード	1040	

＜手順 A＞
1. メモリバックアップを起動します。
2. 上記コードを選択し、決定スイッチを押します。 1 0 4 0 **点灯 →書き込み準備状態**
◎コードの点滅表示が点灯表示に変わります。
3. もう一度、決定スイッチを押します。
◎フラップポテンショが自動セットアップを開始します。
自動的に＜開き側＞、＜閉じ側＞のリミット位置まで動きます。
各リミット点でバックホーンが鳴ります。
ブザー断続音が２回鳴り、１０４０表示が１０４１に変わります。 1 0 4 1 **点灯 →書き込み完了**
１０４０点滅表示に戻ります。(バックアップ終了) 1 0 4 0 **点滅**
4. スタータスイッチ切で終了します。

11. 「電動クラッチ＋フラップキット組付要領書２」電動こく粒排出 •オーガフラップ動作確認を行います .